

千葉大学医学部附属病院で帝王切開瘢痕部妊娠と診断され、治療を受けられた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年6月18日

婦人科

婦人科では、帝王切開瘢痕部妊娠に対する治療成績に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2008年1月1日～2024年3月31日の間に帝王切開瘢痕部妊娠の診断をされ、治療を受けた方

1. 研究課題名

「当科における帝王切開瘢痕部妊娠に対する治療成績の検討」

2. 研究期間

2024年承認日～2026年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

帝王切開瘢痕部妊娠は、以前に受けた帝王切開の子宮切開創部に着床する異常妊娠の一つです。本来の正常な妊娠では、子宮筋の厚い部分に妊娠しますが、帝王切開瘢痕部妊娠では、子宮筋の薄くなった帝王切開瘢痕部に妊娠するため、子宮破裂とそれに伴う大量出血のリスクがあるため、人工妊娠中絶が治療となります。

現在標準治療方法が確立されていないため、今後の妊娠のご希望がない場合は子宮全摘術を検討します。また、ご希望がある場合は経腔的な処置による子宮内容除去術や薬物療法(メトトレキサートという抗がん剤の一種を使用します)を行います。治療が不完全な場合も多く、その時は子宮全摘術が考慮されます。

当科では今後の妊娠をご希望される方に対して、帝王切開の子宮切開創部の妊娠組織の状態や、同部位の子宮筋層の厚さの程度に応じて治療を選択しており、バソプレッシ

ン(血管収縮作用のある薬剤です)併用の子宮内容除去術と開腹手術による瘢痕部の切除と修復術を行ってきました。また、いずれの治療法でも患者様の妊娠例を経験しております。本研究の目的は、帝王切開瘢痕部妊娠の診断となり治療を行なった方の治療経過を解析し、当科で行なった治療の妥当性を検証し、標準的な治療方法の確立に向けた検証を行います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

帝王切開瘢痕部妊娠の治療を受けた患者様の診療記録より、以下の情報を調べて、研究に用います。

- A) 年齢、BMI、生活歴（飲酒・喫煙など）、職業歴、既往歴、併用薬、月経歴、妊娠歴、手術記録、術後の妊娠歴、不妊治療歴
- B) 生化学検査、血液学的検査等の臨床検査結果
- C) 超音波画像、MRI 画像検査結果

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 大鳥 精司

研究責任者（研究代表者）：婦人科 教授 甲賀かをり

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は千葉大学医学部本館5階産婦人科学529室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に試料・情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研

究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出
ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

婦人科 教授 甲賀かをり

043（222）7171 内線 6894